

# 魅力ある学校図書館

## 全ての子どもに読書のたのしみを

読書は、子どもの心の糧です。読書は、子どもが言葉を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付ける上で欠くことのできないものです。

大田区の学校では、全校で「朝読書」を実施するなど、子どもたちの読書活動を推進し、国語力の向上とともに豊かな心を養い、生涯を通して本に親しむ態度の育成を図っています。

平成17年度、大田区では、2億5千万円をかけて学校図書館の蔵書を充実します。学校図書館の蔵書を新しく、魅力のあるものにすることで、学校の読書活動を推進し、読書好きの子どもを育てます。また、蔵書管理のIT化を図り、図書の貸し出しを簡単にして、家庭でもたくさんの本が読めるように取り組めます。

大田区の子どもたちが、読書の楽しさを十分に味わえるように、夏休みや休日などの活用も含め、魅力ある学校図書館づくりと積極的な活用について検討していきます。

問合せ先 指導室 TEL (5744)1435 FAX (5744)1535

大田区教育委員会広報

平成17年7月1日発行 第84号

編集発行：大田区教育委員会

〒144-8623 東京都大田区蒲田5丁目13番14号  
TEL 5744-1111(代)

### 学校図書館を

### いかした読書活動

#### 「朝読書」

全小・中学校で、朝の十分間ほど、全校で本を読む時間を設定しています。学校によっては、昼休み後に読む学校もあります。子どもたちは、学校図書館から自分の気に入った本を借り、手元において読みます。読書習慣を身に付ける上で有効な手立てです。



朝読書

#### 「図書の時間」

多く学校で、「図書の時間」を設け、読書活動を行っています。「国語で勉強した同じ作者の本を読む」「テーマに沿って複数の本を読み比べる」「一冊の本について読書会を開く」など、読書週間や読書集の取り組みとともに、学校図書館を活用した利用指導、読書指導が行われています。



図書の時間

#### 「調べ学習」

学校図書館の本は、社会科や理科など、全ての教科の調べ学習で活用されます。学校図書館に授業で活用される多様な図書がたくさん置かれることで、学習センターとしての役割が充実します。学校では、子どもたちが主体的に問題解決する授業が多くなっています。学校図書館は、子どもたちが、教室を離れ、進んで学習する場となっています。



調べ学習

### 学校図書館を

### いかすために

#### 「学校図書館ボランティア」

矢口東小学校では、保護者による学校図書館ボランティアが、学校図書館の蔵書の整理、環境整備などを行っています。その結果、昨年度、学校図書館の場所を移し、子どもたちが本を読みたくなるような読書環境に生まれ変わりました。



学校図書館ボランティア

#### 「土曜スクール読み聞かせ」

雪谷小学校では、土曜日に学校図書館を活用して、地域のお話会の方々による読み聞かせが継続的に行われています。一年生から六年生まで八十人ほどの子どもが集まり、物語の世界を楽しんでいます。



土曜スクール読み聞かせ

#### 「親子読書」

読書は、家庭での読書習慣が大切です。学校図書館のIT化により図書の貸し出しや管理が簡単になりました。子どもたちが、たくさん本を借り、家庭で親子と一緒に読んで本を読む習慣づくりが進められています。



読み聞かせ

#### 「全学校図書館冷房化」

暑い夏でも快適に読書ができるように全小中学校の学校図書館が冷房化されています。

#### 「読書活動ボランティアの募集」

読書にかかわる知識をいかし、小・中学校で子どもたちに本の紹介などを行う「読書活動ボランティア」を募集します。希望される方は、御連絡ください。

大田区教育委員会指導室  
電話(5744)1435

# 健康を自らつくる子どもを育てよう!

# 健康づくりは家庭から!

## 食育・健康づくり・体力向上

問合せ 学務課 TEL (5744) 1431 FAX (5744) 1535



教育委員会では「大田区教育推進プラン」を策定し、「心と体の健康づくりの推進」をテーマに子どもたちの豊かな心・健やかな体づくりに取り組んでいます。

### 食育＝正しい食習慣を身につけよう

食には、体を成長させ、健康を保つという重要な役割があります。また、食を通じて人と人との交わりを深め、感謝の気持ちを育てるなど心を豊かにする働きもあります。

- 1 バランスの良い食事  
手作りで、主食・主菜・副菜を基本に「口三十品目以上の食品をとりましょう。和食が健康づくりのために見直されています。主菜として魚・豆腐、副菜として、緑黄色野菜・イモ類・海藻類、わかめやひじきの乾燥物」などを使った料理を付け合わせましょう。
- 2 砂糖・塩分のとりすぎに注意  
生活習慣病は、子どものころからの偏食が原因になっています。砂糖のとりすぎは、肥満・糖尿病の原因になり、塩分のとりすぎは、高血圧等の原因になります。また、動物性脂肪のとりすぎは、心臓病や脳梗塞の原因になります。
- 3 食事は楽しく  
出来るだけ決まった時間に、家族と一緒に食事をしましょう。手作り料理が家族への愛と感謝を生み、楽しい食事・家族の会話が心の健康につながります。
- 4 朝食をしっかりと  
朝の食事から、一日の健やかな生活リズムがうまれます。朝食をとらないと、エネルギーが補給されないため、イライラして授業に集中できないなどの害が生じます。
- 5 野菜を食べよう  
野菜にはビタミン・ミネラル・食物繊維が多く含まれています。健康を維持するのに必要な野菜の量は一日に300gです。生活習慣病の予防や、体調を整えるために野菜を食べてみましょう。
- 6 カルシウムで強い骨を  
カルシウムは牛乳・乳製品・豆類・緑黄色野菜に多く含まれています。カルシウムをとって丈夫な骨と歯を作りましょう。成長期の子ども



「健康づくり教室」での活動

がカルシウム不足になると、歯の質が低下したり、あごの骨の発育が悪くなるなどの原因となります。

- 7 ごはんを食べよう  
ごはんなどの穀類を毎日とって、糖質のエネルギーを摂取に努めましょう。また、痩せるための無理な減食は有害です。
- 8 適度な運動  
肥満の予防には、適正体重を知り、バランスのとれた食事と適度な運動が大切です。子どもたちは、発育に欠かせない十分な栄養をとるとともに、身体の発達に必要な運動をすることが欠かせません。家族そろって適度な運動に取り組まましょう。
- 9 食文化を活かして  
日本には、和風、洋風、中華風等いろいろな調理方法を取り入れたすばらしい食文化があります。
- 10 調理や保存を工夫して  
食材の無駄や「を少なくしましょう。」
- 11 家庭の食生活を再チェック  
食の大切さを知り、食について家族で話し合おうとかけをへりましょう。

### 健康づくり＝十分な休養を取り、正しい生活習慣を身につけよう

子どもたちを取り巻く生活環境は激しく変化しています。テレビ、DVDやゲーム、メールなどにより夜型の生活リズムになるとともに、友人と面会が少なくなり、一人の過ごす時間の機会が減り、一人で過ごす時間が多くなっています。こうしたことから、人間関係の希薄化や生活習慣の乱れにつながり、健康に悪影響をおよぼし、ストレスが増える要因になっています。

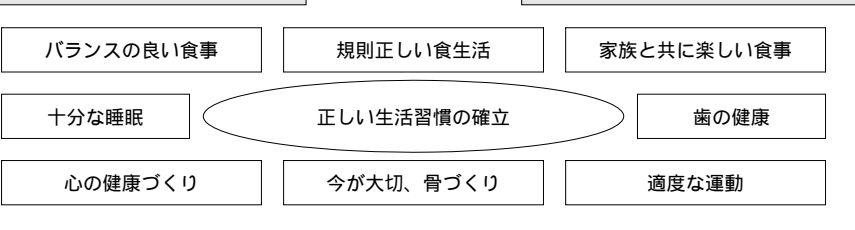
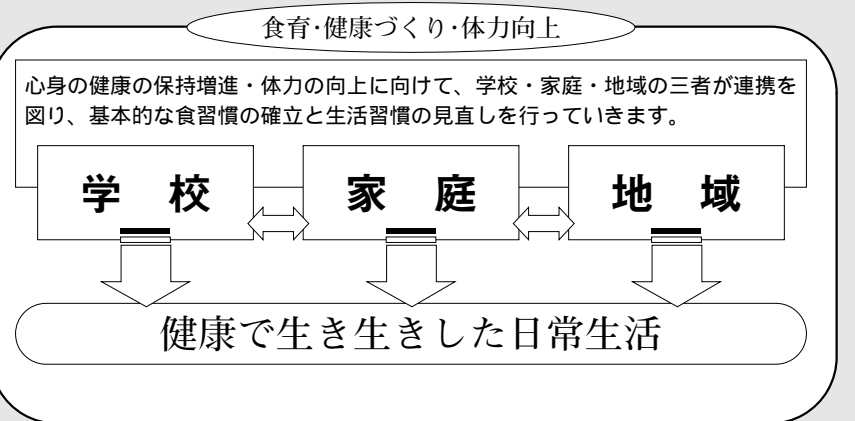
- 1 十分な睡眠  
睡眠不足は倦怠感を深め正常な判断能力を低下させるとともに、生活習慣病を悪化させる原因にもなります。中学生は、「眠い」と訴える子どもが多いとの調査結果も出ています。十分な睡眠は体の疲れを取るとともに、心の疲れの解消にもつながります。夜型から昼型の生活リズムへと変えていきましょう。
- 2 心の健康づくり  
家庭では、家族の触れ合いやコミュニケーションを大切に、くつろげばらばの食文化があります。日本各地には豊富な特産物があります。家族みんなで伝統料理を作ることや新しい料理にチャレンジするなど、料理作りから食べるまでの食を楽しみましょう。
- 3 歯の健康を考えよう  
八〇〇運動をご存知ですか。八歳で二十本の自分の歯をもち、快適な食生活で健康な生活を送ろうという運動です。永久歯に生え変わる小学生の時期に、正しい歯磨きの習慣を身につけましょう。歯の健康のためには予防対策が大切です。年に一〜二回定期的に歯科検診を受けましょう。また、あごの発達には小食・こぶ・緑黄色野菜の歯ぐきにたえのあご食品を家庭の食生活の中に採り入れ、よく噛んで食べるのが効果的です。なお、幼児、児童も多くみられる不正咬合(ひびく)やあご機能異常は、学校の養護教諭や歯科医に相談しましょう。
- 4 こんな病気にも注意  
最近アレルギー性の疾患が増えています。アトピー、ぜん息、花粉症等のアレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎などです。スギ花粉の増加



### 体力向上＝運動習慣を身につけよう

教育委員会では、学校の教育活動全体を通じて体力向上の指導を行い、家庭や地域との連携を図り、健康で活力のある生活を送れるよう取り組んでいます。

- 1 子どもの成長にあわせて  
最近の小学生は、屋内での遊びが増え、友達との屋外遊びが減少し、体力の低下が問題になっています。小学生の時期においては、運動遊びを通して友達との交流を行い、豊かな社会性・人間性を獲得することが必要です。子どもたちの健康を増進し、成長発達を促すためには、バランスのとれた基礎的な体力をつけることが大切です。
- 2 適度な運動を  
家庭では、適度な運動を継続的に行う習慣を作ってください。家族そろってウォーキングや体操、ダンスやリズムダンス、軽い汗をかかせる運動をしましょう。心と体のリフレッシュにつながり、健やかな生活リズムが生まれます。学校地域と連携し、健康づくりや体力向上を自ら積極的に取り組むことを家庭で育てていきましょう。



### 健康づくり・体力向上をすすめる視点

食育	休養	運動
<ul style="list-style-type: none"> <li>バランスの良い食事</li> <li>家族とのふれあい</li> <li>十分な栄養</li> <li>適度な運動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分な睡眠</li> <li>家族の会話</li> <li>子どもとのふれあい</li> <li>生活リズムの改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達とのかかわり</li> <li>運動の継続</li> <li>地域との結びつき</li> <li>家族ぐるみの取組</li> </ul>

### 四十周年を迎えた大田区学校保健会

大田区では、近年の学校保健の動向をふまえ、学校・学校医・医師会・保護者・体になごころもたちの健康管理の充実、健康と安全の推進、あるいは保健活動の意識高揚のため啓発活動が盛んに行われています。

大田区学校保健会は昭和四十年に誕生し、歴代会長に斎藤宗久先生、古川喜代重先生、川辺光丸先生、渡邊隆雄先生が就任しています。学校保健会では、九つの部会と八つの委員会を設け、学校保健の普及向上ならびに研究のために活動しています。

学校医部会では、養護教諭と共に定期健康診断と検尿を実施して児童・生徒の健康状態を把握し、疾病の有無の確認および事後指導を行っています。心臓検診は、突然死を起しやすしい心臓をもつ児童・生徒の早期発見に重点を置き、昭和四十二年から心電図と心音図を併用した心臓検診を行い、心疾患委員会を設置しています。腎臓検診は、尿の蛋白、潜血、糖の検査を行い腎炎、ネフローゼおよび将来起こる恐れのある腎臓病の早期発見の為に、第二次検診まで行っており、昭和四十九年には腎疾患委員会が設置されました。生活習慣病対策では、肥満の治し方委員会が小児成人病対策委員会を経て、現在は生活習慣病委員会と名称になっています。養護教諭部会や栄養士部会も検討し、いきいき健康づくりの一環として取り組んでいます。

大田区では、近年の学校保健の動向をふまえ、学校・学校医・医師会・保護者・体になごころもたちの健康管理の充実、健康と安全の推進、あるいは保健活動の意識高揚のため啓発活動が盛んに行われています。大田区学校保健会は、昭和六十二年に文部大臣賞を授与され、全国をリードする輝かしい成果をあげています。今後とも学校・家庭・学校医等が手を携え、協力し合い子どもたちの健康と安全の為に寄与してまいります。

# 夏休み 子ども向けイベント

## 平成17年度夏休みの博物館体験学習会

問合先 郷土博物館 TEL (3777)1070 FAX (3777)1283



大麦の脱穀と麦こがしづくり



親子でふれる大昔の出土品



開催日	行事名	内容	時間	対象	定員	費用	申込み
7月22日(金)	親子でふれる大昔の出土品	先土器時代から古墳時代に至る歴史を、各時代の発掘品を実際に手でふれながら学習する。	午後2時～4時	小学5年生以上の親子	15組	無料	7月11日(月)から電話受付
7月26日(火)	飛行機づくり	戦前、大森にあった東京瓦斯電気工業(株)で作られ羽田で実験、長距離飛行世界記録達成の航研機をペーパークラフトで作成する。	午後1時～午後4時	小学生以上	40名	200円	
7月27日(水)	海苔船づくり	40年前まで区沿岸で、のり漁業に使われていた和船のペーパークラフトを作る。		小学3年生以上	30名	無料	
7月28日(木)	麦わら遊び「ホタルカゴづくり」	麦わらでホタルカゴを作り、昔の郷土の産業と夏の遊びを振り返る。	午後1時～午後4時	小学3年生以上	30名	無料	7月21日(木)から電話受付
7月29日(金)	麦わら遊び「ガラガラづくり」	麦わらを使って、昔の玩具作りをする。			30名		
7月31日(日)	親子対決!博物館のナゾ	館内を探検しながら、博物館の謎に挑戦する。	午後1時30分～4時	小学生とその家族	30名	無料	
8月2日(火)	六郷のトンビ凧づくり	竹ヒゴと和紙を使って、トンビ(鳶)の形をした凧を作る。	午前10時～午後4時	小学4年生以上の親子	15組	1000円	7月21日(木)から電話受付
8月3日(水)	大森麦わら張り細工	染色した麦わらを木箱に張って、世界で一つの麦わら細工を作る。	①午前9時～正午 ②午後1時～4時	小学4年生以上	各回30名	500円	
8月4日(木)	大田区仕事・暮らしのまち歩き(漁業)	大田区漁業の変遷を事前学習した後、現地見学。	午前10時～午後4時	小学生は親子、成人はどなたでも	30名	交通実費	
8月5日(金)	大田区仕事・暮らしのまち歩き(工業)	大田区工業の変遷を事前学習した後、現地見学。			30名		
8月9日(火)	大田区仕事・暮らしのまち歩き(農業)	大田区農業の変遷を事前学習した後、現地見学。			30名		
8月10日(水)	昔の火おこし	もみざり法や、まいざり法による火おこしの実験を通して、昔の発火法を体験する。	午前9時30分～11時30分(雨天中止)	小学6年生以上	30名	無料	7月21日(木)から電話受付
8月11日(木)	大麦の脱穀と麦こがしづくり	昔の農具を使って麦を脱穀し、麦こがしや麦茶を作る。	午前10時～午後4時	小学3年生以上	30名	無料	
8月12日(金)	大田区仕事・暮らしのまち歩き(海苔)	大田区海苔漁業の変遷を事前学習した後、現地見学。		小学3年生以上	30名	交通実費	
8月24日(水)	麦わら遊び「ホタルカゴづくり」	No4と同じ	午後1時～午後4時	小学3年生以上	30名	無料	7月21日(木)から電話受付
8月25日(木)	麦わら遊び「ガラガラづくり」	No5と同じ			30名		
8月26日(金)	大森麦わら張り細工	No8と同じ	①午前9時～正午 ②午後1時～4時	小学4年生以上	各回30名	500円	

持ち物 行事番号2～5、7～8、15～17は、はさみを持参してください。  
 申込先・会場 郷土博物館 TEL (3777) 1070・FAX (3777) 1283 住所 南馬込5-11-13  
 主な交通手段 大森駅山王北口から東急バス「荏原町駅入口行き」で「万福寺」下車、徒歩2分。地下鉄「西馬込」駅から徒歩8分

### 産業のまちスクール 「産業のまち発見隊」

（財）大田区産業振興協会では小学4～6年生と中学生を対象にものづくり体験セミナー「産業のまち発見隊」を開催いたします。

ものづくり体験や工場見学(小学生のみ)を通じて、「産業のまち」の魅力を肌で感じることができ、大田区の産業やものづくりに興味をお持ちの方はぜひご参加ください。

#### ①小学生対象(定員40名)

4年生～6年生(保護者同伴のこと)

#### 開催日 7月25日(月)

工場見学 テクノウィング大田

会場 都立大田技術専門学校

参加費 無料

②中学生対象(定員30名)

開催日 7月29日(金)

会場 都立六郷工科高校

参加費 無料

※時間は①②とも午前9時～午後4時までを予定。昼食は各自用意。

#### 申込方法

左記ウェブページをご確認いただき、電話にてお問い合わせください。

http://www.pio.or.jp/kids/

#### 申込締切

7月15日(金)午後3時必着

応募多数の場合は抽選となります。

#### 問合先

(財)大田区産業振興協会

企画広報チーム

電話 (3733) 6476

電子メール koho@pio.or.jp

受付時間 午前9時から午後5時

学で、「聞かえない」ことについて一緒に考えてみませんか。

#### 日時

①小学生クラス(小学4～6年生)

7月25日(月)・26日(火)・27日(水)

②中学生クラス(中学1～3年生)

7月21日(木)・22日(金)・23日(土)

①②ともに午前10時から正午

▼場所 大田区社会福祉センター4階会議室

▼対象 3日間参加可能な区内に在住・在学の小学4年生～中学3年生(定員20名・往復はがきで抽選)

▼参加申込 往復はがきに住所・氏名・電話番号・年齢(学校名・学年)を明記のうえ左記まで。7月12日(火)必着。

#### 申込・問合先

〒144-0051 大田区西蒲田7-49-2 大田区社会福祉センター5階大田社協ボランティアセンター

電話 (3736) 5555

#### 参加費

無料

### 入新井図書館の休館

(仮称)大森北一丁目開発により、入新井図書館が平成17年7月1日から平成21年3月末(予定)まで休館します。返却は、平成17年7月15日まで返却ポストの利用が出来ます。

ご迷惑をおかけしますが、区内の他の図書館及び大田文化の森情報館をご利用ください。

### 表彰(スポーツ・文化)

#### 「スポーツ部門」

■調布大塚小学校6年(現在東調布中学校1年生) 柏原優妃さんは、第30回全日本バトントワリング選

手権大会にペアで出場し、第一位となりました。

#### 教育委員会定例会の今後の予定

平成17年7月7日(金)

平成17年7月22日(金)

平成17年8月4日(木)

平成17年9月15日(木)

#### 時間

いずれも午後2時からです。

#### 場所

本庁舎6階 教育委員会室

※予定が変更になる場合もあります。傍聴を希望する方は、あらかじめ、左記までご連絡ください。

庶務係 電話(5744)1422

### 呼称は「副校長」「副園長」に

学校経営を担う者としての立場をより明確化し、保護者や地域社会等の対外的な対応の一層の円滑化を図るため、大田区立学校の管理運営に関する規則を改正し、平成17年4月1日より小・中学校の教頭は「副校長」、幼稚園の教頭は「副園長」と称することにいたしました。